

令和8年度 シラバス

教 科	数学	科 目	数学A	学 年	第1学年	学 科 類 型	普通科
単位数	2単位	教科書	改訂版 高等学校 数学A（数研出版）				
副教材	改訂版 チャート式 解法と演習 数学Ⅰ＋A（数研出版）						

学習目標	場合の数と確率、図形の性質、整数の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。
------	--

キャリア教育の視点	粘り強く考えることにより問題が解けたときの喜びを通して、自己肯定感を高めていきます。 数学を通して身に付けた論理的思考力を活用して、他者に筋道立てて説明する力を養っていきます。
-----------	---

		学習計画及び内容		考 査
1 学 期	4月	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 第2節 確率	ベン図を用いて、集合の要素の個数を求めています。 樹形図、和・積の法則を使い分けて場合の数を求めます。 並べ替える方法が何通りあるかを理解していきます。 グループを作る方法が何通りあるかを考えていきます。 確率の意味、定義を理解していきます。 確率の性質を理解し、いろいろな確率を求めています。	中間調査
	5月			
	6月			期末調査
	7月			
2 学 期	8月	第2章 図形の性質 第1節 平面図形 第2節 空間図形	条件がある場合の確率について理解していきます。 三角形や円の様々な性質を理解していきます。 チェバの定理・メネラウスの定理を理解し、三角形の線分比や図形の面積比を求めています。 正多面体の特徴を理解し、それに基づいて面、頂点、辺の数を求めています。	中間調査
	9月			
	10月			期末調査
	11月			
	12月			
3 学 期	1月	第3章 数学と人間の活動 第1節 整数の性質	約数と倍数、素数と素因数分解、最大公約数・最小公倍数、整数の割り算、ユークリッドの互除法、一次不定方程式について学び、数量などと人間の活動かかわりや数学と文化のかかわりについて理解を深めていきます。	学年末調査
	2月			
	3月			

学習の方法	授業の中でまず教科書の内容を理解していきます。その後問題集を用いて演習を行い、授業内容が理解できているか、自分の力で解くことができるかを確認していきます。 予習・授業・復習の良い流れを作り、計画性をもって学習に取り組んでいきましょう。
-------	--

評価の仕方	定期調査の得点と平常点で算出します。 平常点は、課題・小テスト・ノート、及び授業に取り組む姿勢などを考慮して評価します。 その際、知識・技能や思考・判断・表現や主体的に学習に取り組む態度も考慮します。
-------	--

備考	
----	--